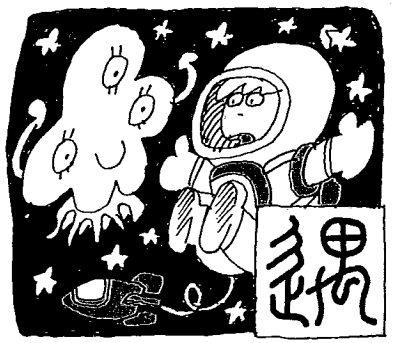
遇

12画



くん　おん　グウ

なりたち　旧字体は遇。頭の大きい人真似猿（ひとまね）の形をかたどった禺と、道の意味の辶との会意形声字。道で猿に〝思いがけず出会う〟ことを表した字で、〝偶然に巡り会う〟こと。転じて、〝もてなす〟こと。

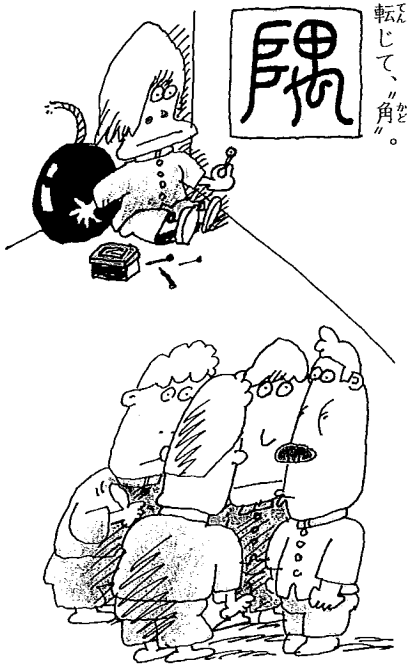
いみとじゅくご
▼偶然に出会う。
遭遇…偶然に（思いがけず）出会うこと。
境遇…その人を取り囲むまわりの環境。巡り合わせ。身の上。
不遇…好運に出会わないこと。才能が有りながら世間に認められないこと。
奇遇…珍しくも、偶然に出会うこと。「奇」は珍しいこと。
千載一遇…千年に一度しか巡り会う機会が無いの意味で、非常に珍しいこと。用例 千載一遇の好機。
▼もてなす。取り扱う。
待遇…❶もてなし。❷職場での地位や給与。
厚遇…厚くもてなすこと。手厚いもてなし。
冷遇…冷ややかなもてなし。冷淡な扱い。反 優遇・厚遇

隅

12画

くん　おん　グウ　すみ

なりたち　頭の大きな手の長い人真似猿（ひとまね）の形をかたどった禺と崖（がけ）の形をかたどった阝（こざとへん）との会意形声字。猿の隠れ住む〝崖縁（がけっぷち）〟を表した字。〝片隅〟。転じて、〝角〟。



いみとじゅくご
▼隅。角。
片隅…片方の隅、の意味。いくつかの隅のその一つ。
一隅…一方の隅。片隅。用例 一隅を照らす。
四隅…四辺形の四つの角。四隅。
さんこう　隅におけない＝思っていたよりも、才能があったり、物事をよく知っていたりして油断ができず、ばかにできない。

列

【3年】

6画

くん　おん　レツ

なりたち　肉を切り取った残りの骨の形を表した歹（がつへん）と、刀の形を表した刂（りっとう）との会意形声字。〝肉を骨から切り裂く〟ことを表した字。切って順序に並べるので〝順序・並ぶ〟の意味を表す。

いみとじゅくご
▼順序。
序列…順序。官位や成績などを一定の基準に従って並べた順序。例 年功序列
▼多くのものが並ぶ。
列侯…同等に並んだ多くの諸侯。
列国…多くの国。
行列…多くの人が並んで列を作ること。また、その列。
▼並び。並んだ形。
隊列…人が隊を組んでつくった列。
前列…隊列の前の並び。
同列…❶隊列の同じ並び。❷地位や待遇が同等であること。
▼並んで続く。続けて並べる。
列島…並んで続く島。
列挙…続けて並べ挙げること。
列記…続けて並べ記すこと。
よみかた　列強・列車・陳列

例

【4年】

8画

くん　おん　レイ　たとえる

なりたち　列と亻（にんべん）との会意形声字で、〝同列の人〟という意味の字。〝仲間〟。転じて、〝いつもと同じ・習わし〟の意味に用いられる。また、同じ仲間の一つとして取り上げる意味で、〝例えば〟という使い方がある。

いみとじゅくご
▼同じ仲間。同じ事柄。
一例…同じ仲間の、いくつかの中の一つ。
引例…（証拠として）例を引くこと。また、その例。
例外…同じ仲間から外れていること。特別であること。
例題…その問題を解く練習としてする、同じ種類の問題。
先例…それより先にあった同じ種類のこと。
▼いつもの。習わし。仕来り。
慣例…いつも行っていること。習わし。仕来り。
定例…いつも決めて行っていること。
例祭…定例のお祭り。
法例…法律上の仕来り。
通例…通常の習わし。
悪例…悪い先例。後に悪い結果を生むような習わし。
よみかた　例示・例年・用例